
大湾区情報 No.12

グレーターベイエリア情報 発行：2021年5月25日



「大湾区情報」では、日系企業の皆様に有用と考えられる最新情報をいくつかピックアップしお届けします。

【大湾区国際仲裁センター交流協力プラットフォーム、河套港深科技创新協力区に開設】



4月24日、「大湾区国際仲裁センター交流協力プラットフォーム」と「中国（深圳）知的財産権仲裁センター」の署名締結・発足式が、河套港深科技创新協力区（以下「協力区」）で行われました。

これらの開設は、より高いレベルの透明化、法治化、国際化したビジネス環境を構築し、国際的な法律サービスと紛争解決メカニズムの改善、知的財産権保護基盤の構築、国際仲裁と知的財産権保護の分野での広東省、香港、マカオ間の交流と協力の強化など、協力区にとって大きな意義があります。

「大湾区国際仲裁センター」は、香港、マカオを含む大湾区の国際的に有名な仲裁・調停機関を集結させ、国際仲裁の分野で優れた専門知識を持ち、一定の評価を受け、各地の法律や関連政策に精通している香港並びにマカオの弁護士を招聘し、中国本土の企業や国内外の当事者に対して、国際化された高品質で効率的な仲裁・調停・その他の商業紛争解決サービスを提供するとしています。

国際仲裁は国際的に広く認知されており、仲裁機関、仲裁人、仲裁場所、審問場所、仲裁言語、仲裁規則、仲裁に適用される法律を当事者が自主的に選択することが認められていることから、大湾区国際仲裁センターは、香港の法制度に適合した民事・商事紛争解決メカニズムの実施を模索することに強い推進力を与え、普及可能な経験を積み重ねることにより、大湾区におけるイノベーション産業の秩序ある発展に弾みがつくと考えられます。

大湾区国際仲裁センターの交流協力プラットフォームに依拠し設立された中国（深圳）知的財産権仲裁センターは、知的財産権に関する多様な紛争解決メカニズムの構築をさらに向上させ、知的財産権に関する仲裁並びに調停を通じて、協力区内の香港、マカオおよび国際的なテクノロジー系企業や人材が調和的、効率的、かつ低コストで紛争を解決することを支援し、科学研究機関やハイテク企業に対してコンサルティング、調停、仲裁を含む「ワンストップ」の知的財産権保護サービスを提供し、貴重な科学研究成果をより体系的かつ強力で保護します。また、当センターは、深圳国際仲裁裁判所の知的財産権仲裁分室として高い専門性を有しています。

協力区の深圳園区では、すでに **100** 件以上のハイエンド研究プロジェクトが立ち上げられ、着地していることが報告されています。その中には、香港の **5** つ

の「世界トップ 100」大学のプロジェクトや、深圳初の国際機関である BRICS 未来ネットワーク研究所(BRICS INSTITUTE OF FUTURE NETWORK)の中国分所設立、シーメンス・エナジー（深圳）イノベーションセンター設立などの、香港、マカオおよび世界の主要なテクノロジー研究プロジェクトを含んでおり、また未来机器人（VisionNav Robotics）、晶泰科技（XtalPi Inc.、ソフトバンクやテンセントが出資している AI を使用した薬物研究開発会社）など、香港企業や海外留学経験者のチームが起業した会社も含まれています。

協力区に開設された大湾区国際仲裁センター交流協力プラットフォームと中国（深圳）知的財産権仲裁センターは、深圳、香港、マカオのさらなる融合を促進し、深圳と香港間の規則やメカニズムの統合を促進し、大湾区が知的財産権の紛争解決において国際的な影響力を持つ保護基盤を構築することを支援し、協力区における高水準の計画や建設を強力にサポートしています。

【前海の深圳－香港デザインクリエイティブ産業園、「二元橋」(ZETTA BRIDGE)】



2016年2月、香港特別行政区政府と深圳市政府は、「クリエイティブ産業の協力促進に関する香港－深圳政府間協定」を締結しました。この協定では、深圳市前海にクリエイティブ産業のためのプラットフォームを設置し、香港、深圳両地間でデザインやクリエイティブ分野でのさらなる協力を促進することが提案されています。

「深圳－香港設計クリエイティブ産業園」は、香港・深圳のクリエイティブ協力のパイロットエリアとして、前海の媽湾区航海路北側に位置し、総敷地面積約14,000平方メートル、総建築面積約19,000平方メートル、そして総投資額約1億2,000万人民元をかけて開設されました。このプロジェクトは前海管理局、香港デザイン総会(FHKDA)、現地政府と招商局の合弁企業、前海蛇口自貿投資公司及び香港系の啓客グループの4者によるコラボレーションです。プロジェクトのフェーズ1は「二元橋(ZETTA BRIDGE)」と名付けられています。この名前は、プ

プロジェクトが前海の二号橋に近接していることに由来しており、香港と深圳のデザイン・クリエイティブ産業の交流と協力を意味しています。

二元橋は 2019 年に正式に運用が開始されており、第一陣として香港のクリエイティブ企業 50 社がすでに進出しています。二元橋は、両地域の政府の支援と、香港設計総会をはじめとする複数のパートナーの参加により、専門家の交流とマッチングのプラットフォームを通じて、入居するクリエイティブスタジオや企業にオフィススペースを提供するだけでなく、関連のビジネスサポートサービスを提供することもできます。企業のコンサルティングサービス、法律サービス、スペースの貸し出しや運営、プロモーションや商品開発、教育や文化交流などによりベンチャー企業の発展を支援していきます。

また、深圳－香港設計クリエイティブ産業園は国際的なクリエイティブ人材、ブランド、企業を中国の企業市場と結びつけるプラットフォームでもあり、香港、中国本土、海外のリソースを集め、革新的な製品の研究開発、中国ブランドの国際化、クリエイティブ産業の発展を促進します。深圳と香港は、クリエイティブ・デザイン産業において非常に強い相互補完の関係にあり、協力のための良い基盤と更なる発展の可能性があります。香港という国際的な窓口を通じて、大湾区全体のクリエイティブ・デザイン産業の発展を推進し、クリエイティブ・デザイン産業をさらに国際的な舞台へと押し上げることができるでしょう。

大湾区の建設を促進するために、前海で稼働する最初の産業プロジェクトとして、クリエイティブ産業園では香港と深圳の新しい協力関係を模索し、香港のクリエイティブデザイン産業と香港企業のためのマーケット空間と開発空間を拡大し、前海が世界クラスのクリエイティブ基地を構築することを支援しています。このモデルが成熟したあかつきには、大湾区外の他地域にも展開・拡大される予定です。実際に、四川省-香港デザイン・クリエイティブ産業園－二元橋（四川天府新区）の発足式も 2020 年 9 月に行われており、今後多くのクリエイティブ園区プロジェクトを生み出すことが期待されています。

【参考資料】

- [大湾区国際仲裁センター交流協力プラットフォーム、河套港深科技創新協力区に設置](#)
- [二元橋\(ZETTA BRIDGE\) ホームページ](#)
- [前海の深圳－香港デザインクリエイティブ産業園が運営開始](#)